

平成31年度 大阪大学 2次試験前期日程 (数学問題)90分
 文・法・経済・医(看護)・外国語・人間科学 数I・II・A・B

1 xy 平面において, 連立不等式

$$0 \leq x \leq \pi, \quad 0 \leq y \leq \pi, \quad 2 \sin(x+y) - 2 \cos(x+y) \geq \sqrt{2}$$

の表す領域を D とする. このとき以下の問いに答えよ.

- (1) D を図示せよ.
- (2) 点 (x, y) が領域 D を動くとき, $2x + y$ の最大値と最小値を求めよ.

2 p を実数の定数とする. x の2次方程式

$$x^2 - (2p + |p| - |p+1| + 1)x + \frac{1}{2}(2p + 3|p| - |p+1| - 1) = 0$$

について以下の問いに答えよ.

- (1) この2次方程式は実数解をもつことを示せ.
- (2) この2次方程式が異なる2つの実数解 α, β をもち, かつ $\alpha^2 + \beta^2 \leq 1$ となるような定数 p の値の範囲を求めよ.

3 座標空間内の2つの球面

$$S_1 : (x-1)^2 + (y-1)^2 + (z-1)^2 = 7$$

と

$$S_2 : (x-2)^2 + (y-3)^2 + (z-3)^2 = 1$$

を考える. S_1 と S_2 の共通部分を C とする. このとき以下の問いに答えよ.

- (1) S_1 との共通部分が C となるような球面のうち, 半径が最小となる球面の方程式を求めよ.
- (2) S_1 との共通部分が C となるような球面のうち, 半径が $\sqrt{3}$ となる球面の方程式を求めよ.

解答例

$$\boxed{1} \quad (1) \quad 2\sin(x+y) - 2\cos(x+y) \geq \sqrt{2} \text{ より}$$

$$\sin\left(x+y - \frac{\pi}{4}\right) \geq \frac{1}{2}$$

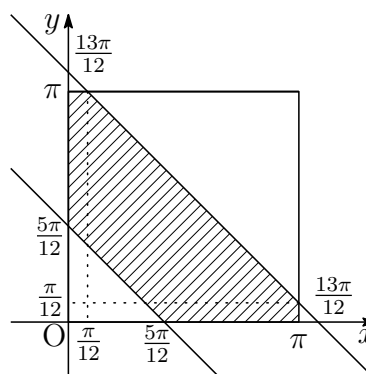
$$0 \leq x \leq \pi, \quad 0 \leq y \leq \pi \text{ より,}$$

$$0 \leq x+y \leq 2\pi \text{ に注意して}$$

$$\frac{\pi}{6} \leq x+y - \frac{\pi}{4} \leq \frac{5\pi}{6}$$

したがって、 D の表す不等式は

$$0 \leq x \leq \pi, \quad 0 \leq y \leq \pi, \quad \frac{5\pi}{12} \leq x+y \leq \frac{13\pi}{12}$$



よって、領域 D は、右の図の斜線部分で、境界線を含む。

$$(2) \quad 2x + y = k \text{ とおくと } y = -2x + k$$

これは、傾き -2 、切片 k の直線を表す。

D において、 k が最大・最小となるのは、それぞれ

$$x = \pi, \quad y = \frac{\pi}{12} \text{ のとき } \text{最大値 } \frac{25}{12}\pi$$

$$x = 0, \quad y = \frac{5\pi}{12} \text{ のとき } \text{最小値 } \frac{5}{12}\pi$$

$$\boxed{2} \quad (1) \quad 2 \text{ 次方程式}$$

$$x^2 - (2p + |p| - |p+1| + 1)x + \frac{1}{2}(2p + 3|p| - |p+1| - 1) = 0 \quad \cdots (*)$$

において

$$|p| = \begin{cases} p & (p \geq 0) \\ -p & (p < 0) \end{cases} \quad |p+1| = \begin{cases} p+1 & (p \geq -1) \\ -p-1 & (p < -1) \end{cases}$$

したがって、次の (i)~(iii) の場合分けを行う。

(i) $p < -1$ のとき、2次方程式 (*) は

$$x^2 - (2p+2)x = 0 \quad \text{これを解いて} \quad x = 0, 2p+2$$

このとき、2次方程式 (*) は実数解をもつ。

(ii) $-1 \leq p < 0$ のとき、2次方程式 (*) は

$$x^2 - p - 1 = 0 \quad \text{これを解いて} \quad x = \pm\sqrt{p+1} \quad (p+1 \geq 0)$$

このとき、2次方程式 (*) は実数解をもつ ($p = -1$ のとき重解)。

(iii) $0 \leq p$ のとき、2次方程式 (*) は

$$x^2 - 2px + 2p - 1 = 0 \quad \text{ゆえに} \quad (x-1)(x-2p+1) = 0$$

これを解いて $x = 1, 2p-1$

このとき、2次方程式 (*) は実数解をもつ ($p = 1$ のとき重解)。

(i)~(iii) より、2次方程式 (*) は、実数解をもつ。

(2) (1) の結果と同じ場合分けを行う。

i) $p < -1$ のとき

$$\alpha^2 + \beta^2 = 0^2 + (2p+2)^2 \leq 1 \quad \text{ゆえに} \quad (2p+1)(2p+3) \leq 0$$

このとき、 $p < -1$ に注意して $-\frac{3}{2} \leq p < -1$

ii) $-1 \leq p < 0$ のとき

$$\alpha^2 + \beta^2 = (\sqrt{p+1})^2 + (-\sqrt{p+1})^2 < 1 \quad \text{ゆえに} \quad p \leq -\frac{1}{2}$$

このとき、 $-1 \leq p < 0$ に注意して $-1 \leq p \leq -\frac{1}{2}$

iii) $0 \leq p$ のとき

$$\alpha^2 + \beta^2 = 1^2 + (2p-1)^2 \leq 1 \quad \text{ゆえに} \quad (2p-1)^2 \leq 0$$

このとき、 $0 \leq p$ に注意して $p = \frac{1}{2}$

i)~iii) において $p \neq -1, 1$ であることに注意して

$$-\frac{3}{2} \leq p < -1, \quad -1 < p \leq -\frac{1}{2}, \quad p = \frac{1}{2}$$

3 (1) 2つの球面

$$S_1 : (x-1)^2 + (y-1)^2 + (z-1)^2 = 7$$

$$S_2 : (x-2)^2 + (y-3)^2 + (z-3)^2 = 1$$

の中心は、それぞれ $(1, 1, 1)$, $(2, 3, 3)$ であり、この2点間の距離は

$$\sqrt{(2-1)^2 + (3-1)^2 + (3-1)^2} = 3$$

また、 S_1 , S_2 の半径は、それぞれ $\sqrt{7}$, 1 より

$$\sqrt{7} - 1 < 3 < \sqrt{7} + 1$$

したがって、 S_1 と S_2 の共通部分 C は円である。 S_1 と S_2 の方程式から $x^2 + y^2 + z^2$ の項を消去すると、円 C が存在する次の平面の方程式を得る。

$$2x + 4y + 4z - 25 = 0$$

これから、 S_1 との共通部分が C となる球面の方程式は、実数 k を用いて

$$(x-1)^2 + (y-1)^2 + (z-1)^2 - 7 + k(2x + 4y + 4z - 25) = 0$$

$$(x+k-1)^2 + (y+2k-1)^2 + (z+2k-1)^2 = 9k^2 + 15k + 7 \quad \cdots (*)$$

ゆえに $9k^2 + 15k + 7 = 9\left(k + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{3}{4}$

球面の半径が最小になるのは、 $k = -\frac{5}{6}$ ときで、その方程式は

$$\left(x - \frac{11}{6}\right)^2 + \left(y - \frac{8}{3}\right)^2 + \left(z - \frac{8}{3}\right)^2 = \frac{3}{4}$$

(2) 球面の半径が $\sqrt{3}$ になるとき $9k^2 + 15k + 7 = 3$

ゆえに $(3k+1)(3k+4) = 0$ これを解いて $k = -\frac{1}{3}, -\frac{4}{3}$

上の結果を (*) に代入することにより、求める球面の方程式は

$$\begin{aligned} \left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \left(y - \frac{5}{3}\right)^2 + \left(z - \frac{5}{3}\right)^2 &= 3, \\ \left(x - \frac{7}{3}\right)^2 + \left(y - \frac{11}{3}\right)^2 + \left(z - \frac{11}{3}\right)^2 &= 3 \end{aligned}$$